

SE100K-JPI4, SE50K-JPI2 の雷被害のサイトチェック手順

(絶縁不良エラーが出ている場合)

手順

- ①シナジーマネージャー、各 DC ストリング、シナジーユニット 3 台の接続ケーブルを全て外す
- ② DC ストリングそれぞれの絶縁測定（※参照：[絶縁不良のトラブルシューティング-アプリケーションノート](#)内、P9「絶縁抵抗計を使用」のストリングレベルでの絶縁抵抗計測方法）
- ③シナジーマネージャーの絶縁測定（※計測箇所は、[図 1](#) 参照）
左ユニット、中央ユニット、右ユニットの DC ライン = 正常値：5MΩ 前後
- ④シナジーユニット 3 台のそれぞれの絶縁測定（※計測箇所は、[図 1](#) 参照）
AC 端子上の L1, L2, L3 = 正常値：2MΩ

⑤シナジーマネージャー、各 DC ストリング、シナジーユニット 3 台を全て接続する

⑥ すべて接続した状態で上記③、④のいずれかで絶縁測定（※計測箇所は、[図 1](#) 参照）

→上記②、③、④にて異常が有れば、それぞれの機器自体に問題あり

→上記③、④にて正常値であるにもかかわらず、上記⑥において、1MΩ を大幅に下回るようであれば、シナジーマネージャー内の PID 緩和回路に付いている逆バイアスダイオードが故障している可能性が高く、雷のような高電圧サージを受けた疑いが掛けられる。

絶縁測定箇所

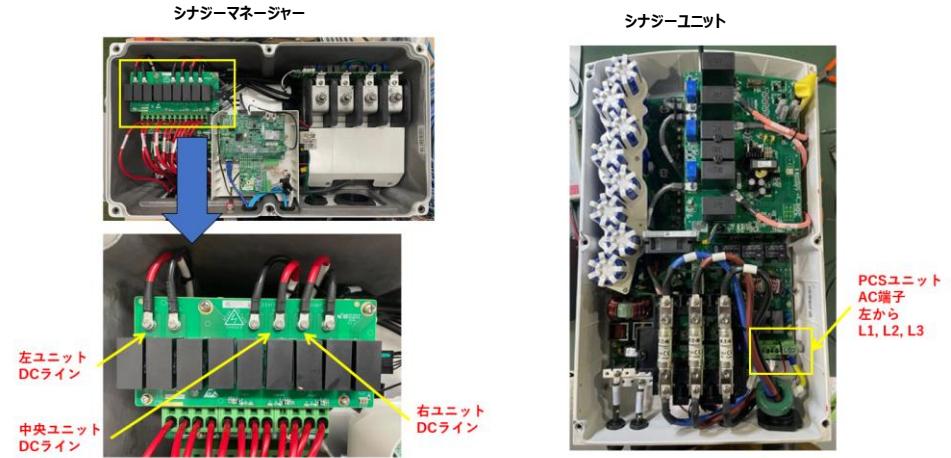


図 1

補足

上記調査で不具合がみとめられた場合は、外乱（雷など）によってどこまで影響が広がっているかが不透明の為、サイトに設置されている現在影響が出ていないパワーコンディショナ、オプティマイザーも全交換を推奨します。運転再開後に動作を確認した後、未交換のパワーコンディショナやパワーオプティマイザーに不具合が出た場合は必要に応じ追加作業で交換を行う必要あり。

以上